

CLOSE TO YOU

- ニュースレター版 -

2015年9月号/No. 3

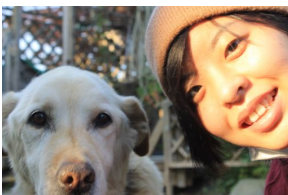
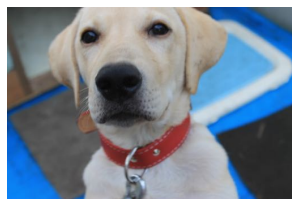
主の御名を賛美します。

暑くてたまらない時期があっという間に過ぎ、ここ最近では涼しいどころかちょっと肌寒いと

感じる日が続くようになりました。秋ですね～。

先日は寒すぎて、フリースを段ボールから引っぱり出してきて寝ました。きっと、運動会シーズンが終わると一気に寒くなるのでしょうね。

さて、私は9月17日～24日に一週間お休みをいただき、約半年ぶりに実家のある北海道に帰省してきました。久しぶりに家族に会い、ひたすら犬と戯れ（実家にトイプードルが3匹、祖父母の家に大型犬が2匹います）、おいしいものをたらふく食べました。（笑）



お休みをいただいたことで、走り続けていた足を一旦止め、名古屋に来てからの3ヶ月をひとつひとつ振り返ることができました。

慣れない地での生活は時折寂しさを感じることもありますが、神様が遣わしてくださった場所であることを信じて、これからも信仰に立って仕えていきたいと思えます！

- 9月の主なはたらき -

- 9/4 (金) ～5 (土) MEBIGセミナー
- 9/12 (土) JキッズSPリハーサル (学び初リード)
- 9/13 (日) Jキッズ礼拝 (初司会)
- 9/17 (木) ～24 (木) 夏季休暇
- 9/27 (日) クレーブパーティー (お話)

名古屋緑福音教会では、毎週土曜日に次の日のCS礼拝のリハーサルを行います。CS教師の先生たちとクリスチャンホームの子どもたちが集まって、賛美の練習や、ゲームのシュミレーションを行い、毎週最善の礼拝を捧げることを目標としています。

そして月に一度、いつものように賛美やゲームの練習をした後、いつも教会に来てくれているクリスチャンホームの子どもたちを対象に、学びと祈りのときを持っています。その時間を「スペシャルリハーサル」（以下、SPリハーサル）と呼んでいます。

私は9月から、SPリハーサルの時間に学びのリードを担当することになりました。

「かがやけクリスチャンキッズ」（日本同盟基督教団著）のテキストを参考にしながら、初回は「なぜ聖書が書かれたのか？」ということ、その根拠となるみことばを開きながら、子どもたちと一緒に学びました。

学びの後は、27日に行われたクレーブパーティーに誘っているおともだちの名前を挙げて祈るときを持ちました。

私自身、学びをリードするのは初めての経験で、かなり緊張して準備に臨みましたが、他でもない私自身がガツンと語られた準備となりました。

10月は、「神様はどういう方か？」ということについて学ぶ予定です。

written by manyamo



Jesus Victory!

9月27日は、月に一度の小中高生合同礼拝の日。今月は、クレーブパーティーが行われました。来てくれたおともだちは、なんと約90名!

みんなクレーブの生地に、こぼれそうなくらい果物やゼリー、アイスクリームをてんこもり。お陰で、具材も生地もあつという間に完売しました…。



◀スパイダーマンおにごっこ。捕まったらスパイダーマンになるというルール。最後の方はスパイダーマンがうじゃうじゃいてかなり気持ち悪い…。



◀イベントで初めてお話の奉仕をしました。今回のお話は、タラントのたとえ。「任されたものを、しっかりと活かす」というメッセージでした。



◀お待ちかねのクレーブの時間。人気だったのは男性スタッフ特製のキーマカレー!私を取りに行ったときは完売でした。食べたかったな…。



◀今回、なんと中高生が14人も来てくれました!中には近所の子も。これからはジモティーもたくさん来てくれるといいな～

お話の奉仕があり、緊張しすぎて今回もあまり写真を撮ることができませんでした。(泣)

礼拝の終わりに、「今週の暗唱聖句」を覚えて発表する時間があるのですが、来てくれたたくさんのおともだちと、一緒に声を合わせてみことを覚えることができたことが、とても嬉しかったです。

次回は、10月18日が合同礼拝。ぽてちパーティーをする予定です。そして、初めてイベントで司会デビューをします…。

おそらく緊張の嵐だと思うので、みなさんお祈りに覚えていただけると嬉しいです…。



また、9月4～5日には、MEBIGセミナー(子ども伝道)に参加してきました。北海道出身にも関わらず、実は一度もセミナーに参加したことがなかった私…。

5日の午前中に、実際にMEBIGを体験する時間が設けられており、おともだち(MEBIGでは子どもを"おともだち"と呼んでいます)になりきって、MEBIGのプログラムを体験しました。

MEBIGはゲームが充実していることで有名です。私は見た目に反して運動がかなり苦手なので、半ベそでの参加になりました(笑)、それでも十分楽しむことができました。

今回のセミナーは、「おともだちのしつけ・訓練」というテーマで行われました。

日常に起こりうる様々なケーススタディーから解決策を学んだり、MEBIGで実際に行っているプログラムの映像を見ながら、子ども伝道に力を注いでいるMEBIGの精神を学びました。

私が今回学んだことは、「奉仕の姿勢」です。奉仕をするとき、どうしても「出来た・出来なかった」という部分に目がいってしまいがちです。しかしそれ以上に大切なことは、「そのとき自分はイエス様と繋がっていたか」ということ。奉仕は人からの評価ではなく、自分と神様との関係の中で生まれるものであると改めて気づかされました。

他にも多くのことを学ばせていただきましたが、その知識を参考にこれからの働きに用いていきたいと思います。

-10月の予定-

11日(日) 小学科・中高科メッセージ奉仕

17日(土) SPリハーサル

18日(日) ぽてちパーティー(司会)

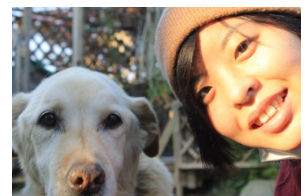
24日(土) I love high school students!@大阪

※24日は、関西Hi-b.a.の講演会に大阪まで行きます。

-次回予告-

次回はぽてちパーティーの報告と、I love high school students!の報告が中心になると思います。

次回のニュースレターを送付する頃には、完全に冬になっていることでしょう…これからいよいよ寒くなりますね。



延び延びになってしまいましたが、私がここに導かれた証しをさせていただきます。

まわり道を経て

寺沢愛那

私はクリスチャンホームで育ち、中学2年生のときに洗礼を受け、高校3年生のときに初めて訪れた松原湖のキャンプをきっかけに献身の思いが与えられ、TCUに入学しました。



入学当初は、フルタイムでの働きを目指していましたが、様々な奉仕を経験するうちに、また教会で働かされている牧師先生の姿を間近で観察するうちに、自信が喪失し、「さんざん祈ってきたけど、私が進んだこの道は間違っていたのかもしれない」と思うようになりました。加えて、母教会から支援献金もいただいていたので、「もう後戻りできない」というプレッシャーに焦り、いつしか喜びをもって進んだはずの道が「教会の期待に応えなければならない」「献身しなければならない」「奉仕しなければならない」という義務感へと変わっていきました。

私は在学中、そのプレッシャーと恐れをどうしても克服することができず、悩んだ末に結局支援していただいていた母教会に事の経緯を説明して謝罪をし、もう一度原点に戻ってこれから先のことを考えることにしました。

大学卒業後は個別指導塾に就職し、働きながら教会に仕えていく道を選びました。



小中高生を相手にする塾講師の仕事はやりがいも感じていましたが、やはり職務上直接伝道することができないことに歯がゆさを感じていました。さらに子どもが休みになる夏休み・冬休みなどの長期休みは、朝から深夜まで仕事に追われ、日曜日に教会に行けないことの方が増えていきました。

挙句の果てに体調を崩し、やむを得ず昨年末退職をしました。

そんな身も心もぼろぼろな状態の中で、「自分は何をやりたくて、何に価値を見出していけばいいのか?」ということ問われるようになりました。

そんなときに連絡させていただいたのが、名古屋緑福音教会でした。しかし、一度は挫折した直接献身の道。挫折したからこそわかる、その働きの大変さと難しさ。教会と連絡を取り続けているうちにかつての苦しみを思い出し、「本当にこのまま進んでもいいのだろうか」と不安な思いに駆られるようになりました。だからこそ、かつての失敗をもう二度と繰り返したくない、という思いで祈りました。

その中で、今まで人の言葉に影響されすぎたり、現実的なことばかりを考えて、色んな言い訳をして逃げてきたことに気づいていきました。そして、色んな回り道をしてきたけれども、6年前に与えられた献身の思いが確かなものであった、という確信に至りました。

母教会の牧師先生が、私がTCUを卒業するときにこんなことばをかけてくれました。

「献身は才能ではなく、主を誰よりも信じる信仰です」と。何かができるから、飛び抜けた才能があるから献身することができるのではなく、人を救いに導けるのではなく、人を励ますことができるのではなく、すべてに神様が働いてくださるからこそ、人を導くことができるのだ、ということに改めて気付かされたのです。それがわかったとき、長年抱えてきたプレッシャーや様々な恐れは消えていきました。

一連の出来事を経て、何度失敗してもそこから必ず神様は立ち上がらせてくださること、神様は与えられた約束を必ず実現してくださる御方であることを知りました。こうして一筋縄ではいかなかったからこそ、私はもう一度、教会に仕える決心をすることができたのだと思っています。

最後に、私がこの教会に行くことを決断したみことばを紹介して、終わりたいと思います。

「それで主は、あなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの先祖たちも知らなかったマナを食べさせられた。それは、人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべてのもので生きる、ということ、あなたにわからせるためであった。」(申命記8:3/新改訳)